

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 5 月 9 日

新潟県知事 殿

提出者
住所 青森県上北郡横浜町字林尻102-100

氏名 日本ホワイトファーム株式会社
田中 雄一郎
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0175-78-3934

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	日本ホワイトファーム株式会社 宮崎食品工場
事業場の所在地	宮崎県日向市美々津町2277番地
計画期間	令和 8 年 4 月 1 日 から 令和 9 年 3 月 31 日 まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	食料品製造業 (09)
②事業の規模	資本金 15.6億 年商167億
③従業員数	450人

④産業廃棄物の一連の処理の工程

```
graph LR
    A[生鳥入荷] --> B[脱毛]
    B --> C[中抜]
    C --> D[解体]
    D --> E[計量]
    E --> F[包装]
    F --> G[出荷]
    B -- 汚水 --> H["(排水処理工程・汚泥へ)"]
    C -- 内蔵・骨類 --> I["外部委託(肥・飼料化)"]
    D -- 羽毛 --> J["外部委託(肥・飼料化)"]
    E -- 血液 --> K["外部委託(肥・飼料化)"]
    F -- 廃プラスチック類(燃料化) --> L["(燃料化)"]
```

図1 ブロイラー処理フローシート

(管理体制図)

別紙 管理体制

① 現状

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	動植物性残さ
排 出 量		34,184.00 t		140.10 t		0.54 t	3.42 t	242.95 t
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず・コンク	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃アルカリ血液	水銀使用製品産業廃棄	特管 廃油	④
排 出 量	2.43 t	1.79 t	0.53 t		2,301.49 t	0.60 t	0.12 t	

節水による汚泥排出量の削減

② 計画

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	動植物性残さ
排出量		32,474.80 t		133.10 t		0.51 t	3.25 t	230.80
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず・コンク	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃アルカリ血液	水銀使用製品産業廃棄	特管 廃油	④
排出量	2.31 t	1.70 t	0.50 t		2,186.42 t	0.57 t	0.11 t	

再生水に変更し、汚泥量削減

① 現状

廃棄物置場の整理整頓、分別確認。

② 計画

分別を徹底させ減量化を図る。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(1) 責任者及び管理組織図

統括責任者		所 属：宮崎食品工場	工場長職・氏名： 丹田 直寿
廃棄物担当		組織名：設備管理課 組織人数：7人	課長職・氏名： 平山 明
役 割	工場環境管理委員会	○ 廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、再生利用、中間処理、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 ・委員長－工場長 ・委員－関連部署部課長 ・事務局－設備管理課	
	廃棄物処理統括責任者	○ 廃棄物処理方針の策定 ○ 工場の廃棄物管理規程の策定・改廃 ○ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認	
	廃棄物管理担当課長	○ 廃棄物処理計画の作成 ○ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 ○ 産業廃棄物処理施設の運転・維持管理状況の把握 ○ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理 ○ 委託契約の締結 ○ 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理表の交付・管理 ○ 監督官庁への各種報告 ○ 社員、関連会社に対する教育・啓発 ○ その他関係する事項	

日本ホワイトファーム(株)
宮崎食品工場

工場長（廃棄物処理統括責任者）

工場環境管理委員会

製造部
産業廃棄物処理責任者
(製造各担当課長)

設備管理課
廃棄物管理担当責任者
(設備管理課長)

食材課
産業廃棄物処理責任者
(食材課長)

総務部
産業廃棄物処理責任者
(総務部長)

一各生産ライン
廃棄物担当者

① 現状

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	動植物性残さ
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず・コンク	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃アルカリ血液	水銀使用製品産業廃棄	特管 廃油	④
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

② 計画

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	その他
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量								
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスく ず・コンク	管理型混合 廃棄物	安定型混合 廃棄物	廃アルカリ 血液	水銀使用製 品産業廃棄	特管 廃油	④
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量								

① 現状

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	動物性油脂
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00		0.00		0.00	0.00		0.00
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	30,755.60		0.00		0.00	0.00		0.00
産業廃棄物の種類	金属くず [※]	ガラスくず・コンク	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃アルカリ血液	水銀使用製品産業廃棄	特管 廃油	④
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.00	0.00	0.00		0.00	0.00	0.00	

100%再生利用を図る。

② 計画

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	その他廃棄物
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	1	1	1	1	1	1	1	1
自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の 量	1	29,227	1	1	1	1	1	1
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスく ず・コンク	管理型混合 廃棄物	安定型混合 廃棄物	廃アルカリ 血液	水銀使用製 品産業廃棄	特管 廃油	④
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	1	1	1	1	1	1	1	1
自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の 量	1	1	1	1	1	1	1	1

工場使用水の減量を図り有機性汚泥の低減化を目指す。

① 現状

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	動植物性残さ
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスく ず・コンク	管理型混合 廃棄物	安定型混合 廃棄物	廃アルカリ 血液	水銀使用製 品産業廃棄	特管 廃油	④
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t	t	t	t	t	t	t

② 柱面

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	動物の死体はくさ
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず・コンク	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃アルカリ血液	水銀使用製品産業廃棄	特管 廃油	④
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	動物性油脂
全処理委託量	3,418.40 t		140.10 t	0.54 t	3.42 t	242.95		
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t		0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00		
再生利用業者への処理委託量	3,418.40 t		140.10 t	0.54 t	3.42 t	242.95		
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t		0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00		
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t		0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00		

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず・コンク	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	腐アルカリ血液	水銀使用製品産業廃棄	特管 廃油	④
全処理委託量	2.43 t	1.79 t	0.53 t		2,301.49 t	0.60 t	0.12 t	
優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t			0.00 t	0.00 t	
再生利用業者への処理委託量	2.43 t	1.79 t	0.00 t		2,301.49 t	0.60 t	0.12 t	
認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t		0.00 t	0.00 t	0.00 t	
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t	0.00 t		0.00 t	0.00 t	0.00 t	

④再生水利用設備設置 (2022年～)

別紙

②
計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動物の糞尿	汚泥	動物の死体	廃プラスチック	紙くず	木くず	廃油	動植物性残さ
全処理委託量		32,474.8 t	0 t	133.1 t	0 t	0.51 t	3.25 t	230.8 t
優良認定処理業者への処理委託量								
再生利用業者への処理委託量								
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								
産業廃棄物の種類	金属くず	ガラスくず・コンク	管理型混合廃棄物	安定型混合廃棄物	廃アルカリ血液	水銀使用製品産業廃棄	特管 廃油	④
全処理委託量	2.31 t	1.70 t	0.50 t	0.0 t	2,186.4 t	0.57 t	0.11 t	
優良認定処理業者への処理委託量								
再生利用業者への処理委託量								
認定熱回収業者への処理委託量								
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

(今後実施する予定の取組)

※事務処理欄

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書（集計用シート）

提出者の名称	日本ホワイトファーム株式会社 田中 雄一郎	提出者の住所	青森県上北郡横浜町字林尻102-100
事業場の名称	日本ホワイトファーム株式会社 宮崎食品工場	事業場の所在地	宮崎県日向市美々津町2277番地
内容年度	8 年度	(単位:トン)	

廃棄物の種類	現状 計画	排出量 A	自社内での処理状況				委託先での処理状況				
			自己再生 利用量 B	うち熱 回収量 C	自己中間 処理 減量化量 D	自己最終 処分量 E	全処理 委託量 F	委託処理量のうち委託先毎の量			
								優良認定 処理業者 への処理 委託量 G	再生利用 業者への 処理 委託量 H	熱回収 認定業者 への処理 委託量 I	熱回収 認定業者 以外の熱 回収を行 う業者へ の処理 委託量 J
動物の糞尿	現状						0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	計画	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
汚泥	現状	34,184.0		0.0	30,765.6		3,418.4	0.0	3,418.4	0.0	0.0
	計画	32,474.8	0.0	0.0	29,227.3	0.0	32,474.8	0.0	0.0	0.0	0.0
動物の死体	現状										
	計画	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃プラスチック	現状	140.1		0.0	0.0		140.1	0.0	140.1	0.0	0.0
	計画	133.1	0.0	0.0	0.0	0.0	133.1	0.0	0.0	0.0	0.0
紙くず	現状										
	計画	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
木くず	現状	0.5		0.0	0.0		0.5	0.0	0.5	0.0	0.0
	計画	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
廃油	現状	3.4		0.0	0.0		3.4	0.0	3.4	0.0	0.0
	計画	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
動植物性残さ	現状	242.9		0.0	0.0		242.9	0.0	242.9	0.0	0.0
	計画	230.8	0.0	0.0	0.0	0.0	230.8	0.0	0.0	0.0	0.0
金属くず	現状	2.4		0.0	0.0		2.4	0.0	2.4	0.0	0.0
	計画	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0
ガラスくず・コンクリートくず・陶 磁器くず)	現状	1.8		0.0	0.0		1.8	0.0	1.8	0.0	0.0
	計画	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0
管理型混合廃棄物	現状	0.5		0.0	0.0		0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
	計画	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0
安定型混合廃棄物	現状										
	計画	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
廃アルカリ 血液	現状	2,301.5		0.0	0.0		2,301.5		2,301.5	0.0	0.0
	計画	2,186.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2,186.4	0.0	0.0	0.0	0.0
水銀使用製品産業廃棄物	現状	0.6		0.0	0.0		0.6	0.0	0.6	0.0	0.0
	計画	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
特管 廃油	現状	0.1		0.0	0.0		0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
	計画	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0
④	現状										
	計画	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合 計	現状	36,878.0	0.0	0.0	30,765.6	0.0	6,112.4	0.0	6,111.8	0.0	0.0
	計画	35,034.1	0.0	0.0	29,227.3	0.0	35,034.1	0.0	0.0	0.0	0.0